

学校教育目標	『自立貢献』～夢をもち努力をおしまず感動を共有できる生徒～ (具体目標) 将来に夢を抱き、自ら学び続ける生徒を育てます。(知) 挨拶・礼儀や社会のルールを重んじ、場に応じた行動がとれる生徒を育てます。(徳) 自分や他の命を大切にし、健康な心と体をつくる生徒を育てます。(体) 地域を愛し、自らができることを実践する生徒を育てます。(公) 積極的に挨拶をし、また多くの人とのコミュニケーションを大切にしながら、視野を広げようとする生徒を育てます。(開)				
	創立 68 周年	学校長 若杉 栄一	副校長 鈴木 孝明	3 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 650 人 主な関係校: 西寺尾小、西寺尾第二小、子安小、港北小、寺尾小				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	錦台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
あらゆる教育活動を通して、自己有用感・自己肯定感を醸成して、集団への帰属意識を向上させ、問題発見・問題解決能力やコミュニケーション能力の向上を目指す。	錦台中学校 西寺尾小 西寺尾第二小	互いに認め合い、自ら行動する子ども 「あいさつ」あふれる笑顔の「あいごと」というスローガンのもと、学校・家庭・地域で協働して錦台中学校区に生活する子どもたちの健全育成を促進するとともに、資質・能力を高めて主体的に学ぶ子を育てる。 ○ブロック内での情報交換を基に児童生徒の実態把握 ○把握した情報から「生徒に身に付けさせたい力」「重点的な取り組み事項」等に関する共通理解の推進 ○合同研修会、授業研究会等の開催 ○6年生児童の授業見学、部活動体験等

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人ひとりが生徒とのふれあいを大切にし、お互いにコミュニケーションを図り、「チーム」として機能する活力ある学校づくりを目指します。</li> <li>○育成すべき資質・能力を明確化し、「わかる授業」「楽しい授業」の展開を通して、深い学びを目指します。</li> <li>○人権を尊重し、互いの良さを認め、「相手の立場になって考える」「相手へのいたわりや、優しい心を持つ」生徒を育てます。</li> <li>○相談活動を充実させ、心身が健康な生徒の育成と安全な学校生活を目指します。</li> <li>○学校運営協議会や学校評価を生かし、保護者や地域と協働した「地域とともに歩む」学校づくりを目指します。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>①育成すべき資質・能力を明確化し、研究授業や授業研究等を重ね、「わかる授業」「楽しい授業」を目指して工夫・検討を行う。</li> <li>②新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」の具現化に向けて、最新のデータを活用して各教科の取組を推進する。</li> <li>③学習目標を明確にし、学習の過程や成果を適切に評価し、指導と評価の一体化を行う。</li> </ul>
担当 学習指導係・教科会	
<b>徳</b> 道徳指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業をさらに充実させるために、生徒ひとりひとりの個性を生かした教育活動を行い、人権や平和に対する意識の向上を行う。</li> <li>②日々のあいさつを継続し、他者を思いやる心と認め合う心の醸成を目指す。</li> </ul>
担当 道徳指導係	
<b>体</b> 健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①感染症防止対策及び熱中症対策を継続し、教室や校内の環境調整や美化に努める。</li> <li>②生徒一人ひとりの思いに基づいて、委員会活動や保健体育科の授業、部活動の充実を図る。</li> <li>③外部機関と連携して、「食育」「いのちの安全教育」「性に関する教育」「薬物乱用防止教育」を推進し、健やかな成長を支援する。</li> </ul>
担当 保健環境指導部・健やかな体委	
<b>公</b> 地域連携 小中連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域とともに歩む学校をめざし、子どもたちに「地域の一員」としての意識を育てる。</li> <li>②学校HPや学校便り、校長だよりを通して学校の情報を発信し、地域に開かれた学校をつくる。</li> <li>③生徒一人ひとりの思いに基づいて、小中ブロック(3N)の活動を工夫して行う。</li> </ul>
担当 研修部・学家地連	④学校運営協議会や学校評価アンケート結果データから、地域や保護者、専門家の意見を学校運営に生かす。
<b>いじめへの対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①月1回以上のいじめ防止対策委員会で、案件を丁寧に行うことで、いじめや不登校の早期発見と認知、早期対応、再発防止に努める。</li> <li>②いじめがあった場合の初動を大切にし、いじめ防止対策委員会で支援について検討し、いじめの被害者へ徹底した寄り添いを行う。</li> </ul>
担当 いじめ防止対策委	
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①校内メンター研修を計画的に実施し、研修を通じて経験年数に応じたすべての職員の人材育成を図る。</li> <li>②全教職員が教育公務員としての使命感と情熱を持ち、自らの指導力を高める。</li> <li>③データやICTの活用と検証により、校内組織分掌の統廃合と見直し、働き方改革、教職員業務負担軽減を推進する。</li> </ul>
担当 研究部	
<b>生徒指導 生徒支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日頃から生徒に寄り添い、年3回の教育相談日の設定、毎日の健康観察(スタナビの活用)、生徒への声かけと保護者との連携を図る。</li> <li>②3年間を見通した指導を心がけ、報告・連絡・相談を徹底して組織的な指導を行い、必要に応じて外部機関連携を迅速に行う。</li> <li>③学校のきまりについては現在の社会情勢に沿うか検討するとともに、生徒自らが考え話し合う機会を設定し、見直しを図る。</li> </ul>
担当 生徒指導部	
<b>特別支援教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特別支援教育委員会の定期的な開催と内容の充実を図り、一人ひとりの思いに基づいて、支援を要する生徒への理解を深める。</li> <li>②障害等の理由で授業に参加できない状況を見直し、生徒の思いに寄り添いながら誰一人取り残さない教育を推進する。</li> <li>③必要に応じて校内委員会を実施し、生徒一人ひとりが「ふさわしい学びの場」での生活できるように検討する。</li> </ul>
担当 特別支援教育委員会	
<b>情報教育</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、組織的な働き方改革につなげる。</li> <li>②「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、学力・学習状況調査のデータ結果をスタナビ等で活用し、授業改善に生かす。</li> <li>③ICTの効果的な活用について全教職員で検討し、共有する。</li> </ul>
担当 教務部情報係	
<b>部活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①調和のとれた生活の中で部活動を楽しむために、生徒の思いに寄り添いながら市立学校部活動ガイドラインに沿って活動を展開する。</li> <li>②休養日の確保、安全な練習時間の確保と環境整備、指導者による体罰・暴力行為・ハラスメントの禁止を徹底する。</li> <li>③部活動指導員の積極的な任用により、教職員の業務負担軽減及び働き方改革を推進する。</li> </ul>
担当 部活動顧問会	